

**運動会、完全燃焼!**

6月10日(土)晴天の中、運動会が行われました。プログラムが進むごとに会場の熱気が増し、熱い暑い運動会となりました。

**うまくいったこと・発見したこと・感動したこと**

- ・複学年種目で協力できたこと。
- ・勝負に「必ず」はないこと。
- ・組体操
- ・係の責任を果たせた。
- ・大むかででみんなと合わせて走ることができた。
- ・全員リレーのバトンパスがうまくできた。
- ・先輩が泣いたり笑ったりしていて感動した。



**運動会を通して学んだこと**

- ・チームワーク。
- ・自分に足りなかったところ。
- ・人数が少ないからこそ、協力が強まるということ。
- ・しっかりと練習することの大切さ。
- ・何事もあきらめずにがんばること。
- ・勝敗にかかわらず、最後までやりきること。
- ・負けてしまいそうでもあきらめずにやること。



**運動会の作文から**

運動会での奇跡

ぼくはこの運動会がすごく楽しかったです。

小学校の時の運動会は1勝5敗というものでした。しかもその1勝は、ぼくが持病を再発させて入院している時に勝ったのです。そのせいでぼくは、自分がいると負けるのかなと思うようになりました。だから、もしかしたら今回も負けてしまうかもしれないという気持ちがありました。

しかし、友達や先輩と練習していると負けてしまうという気持ちが、協力して勝とう、という気持ちに変わりました。そして、当日もこの気持ちでがんばることができました。

当日は、今まで勝っていた大玉転がしで負けてしまったり、今まで負けていた綱引きで勝つことができたりしていて、スローガンの「元気→本気→奇跡」が実現したような気がします。しかも、奇跡は、大玉転がしと綱引きだけでなく、最後の紅白対抗リレーでも、最後の最後で白組がぬかすという奇跡がうまれました。これらは多分、スローガンの通りみんながやる気を出し、一つ一つの競技を本気でやったから、最後まで結果がわからない運動会になったのだと思います。

プログラムがすべて終わり、校舎の冷水器を飲みに行こうとしたら、先輩が、「お疲れ」と言ってくれました。僕はとっさに、「お疲れさまです。」と言いました。その時ぼくは、心の中でぼくも2年や3年になったら、こういう先輩になりたいなと思いました。なぜかという、言われた側は、うれくなるからです。言われていやだと思える人もいるかもしれませんが、ぼくはうれしかったので、2年になったら後輩に言ってみたいです。ですが、それはまだ先の話なので、今は友達と先輩方と楽しい日々を送っていこうと思います。

来年は、最初から前向きな気持ちで取り組み、運動会実行委員にもなってみたいです。来年は、今の3年生方と運動会ができないので、さみしい気持ちがあります。なので、これからも先輩と仲良くなって充実した中学校生活を送りたいです。

**来週の予定**

日	曜日	1	2	3	4	5	6	予定	給食
19	月	英	理	国	体	英	社	朝礼 安全指導日 八ヶ岳自然教室事前検診	○
20	火	国	体	数	社	技	学	定期考査前質問教室始 前日指導	○
21(水)～23(金) 八ヶ岳自然教室									

※来週は、いよいよ八ヶ岳自然教室です。持ち物の準備や健康チェックなど、忘れずに取り組みましょう。

## 感動の運動会

私は、中学生になってからの初めての運動会をととても楽しみにしていました。また、今年で文林の運動会が最後の先輩方のためにも精一杯がんばりたいと思いました。

そこで、練習が始まり、その日が近づいてくるにつれて練習の回数が多くなってきました。最初の方は、ソーラン節のおどりやダンスを覚えなかつたので、ものすごく苦労しました。先輩から教えてもらったり、みんなから教わったり、放課後も練習にいたりして、なんとか覚えようと必死でした。その成果もあり、運動会では練習でできなかった笑顔も完璧にできました。今まで努力してきてよかったなと思いました。

他の競技の練習では、先輩方とどのようにしたらうまくいくかを話し合っ、実際にやってみるとほとんど紅組が勝っていました。特に、綱引きが強かったので、本番も勝つぞ、と強く思っていました。

けれど、私が一番苦手だったのが大ムカデで、息を合わせて進むのがとても難しかったです。先輩が並ぶ順番を変えるのですが、なかなかうまくいかず、本番大丈夫か不安でした。

そして運動会本番。この日は気温も高く、とても良い天気でした。なので、とてもやる気が出ました。

開会式、ラジオ体操などが終わり、1、2年生の複学年競技です。作戦通りにやっ赤と白でいい勝負でした。けれど少しの差で白が勝ちました。とっても悔しかったです。次に、1、3年生の複学年競技では、チームの変更をしたので練習よりも速くゴールすることができました。本当にうれしかったです。綱引きでは、練習の時もできていたので自信があったのですが、勝つことができなかったのは本当に悔しかったです。大むかでは、練習よりもペースが落ちていたし、まったく息が合っていなかつたため、何度も止まってしまっ先輩の足を引きずってしまったのにもかかわらず、先輩たちは全くあきらめずに進んでいく立派な姿を見て感動しました。全員リレーでも、1周の差がついても、追いつこうという風に走る先輩方の折れない心が、すごくカッコイイと思いました。

そして、今回の運動会では、たくさんのことが学べました。最後まであきらめない心や協力することを学び、これからの生活でも何事も全力で行えるようがんばりたいです。

## 力の限り

僕は、「運動会」と聞いた時、面倒くさいと思った。なぜなら、朝練習、放課後練習があり、放課後練習にはあまり参加したくなかつたからだ。バドミントン部に参加し、その練習をしたい気持ちが大きかつたからだ。

一つ目は、「ソーラン節」である。運動会の演技の中で最初に練習した踊りだ。練習していくうちにどんどん楽しくなつていき、家でも動画を見て、踊りの確認をしていた。僕は、踊りが好きで、踊っているうちに、歌の歌詞まで覚えてしまう。だから、一生懸命に練習し、自分が好きなことを生かしたかつた。

2つ目は、「大むかで」だ。先輩方と一緒に、息を合わせるのが楽しかつた。どんどんスピードを速くすることでみんなと合わせようというチームワークが生まれていった。もっと練習したいと思うようになってきたのだ。先輩方ががんばり、何事もあきらめずに練習していた。それを見た僕は、3年生のためにも絶対優勝したいと心に強く思った。そう思った日から、全力で練習し、少しでも力になって優勝に貢献したいと考えていた。得点係の僕は、先に結果を知ってしまうので、ドキドキワクワクはない。しかし、先輩方は、結果を早く知りたいと思っているだろう。先輩のためにも優勝し、喜んでほしいと思った。

運動会当日、晴れていて暑かつた。午前の部前半。白組に10点差で負けていた。しかし、紅組は午後の後半で巻き返し、5点差で紅組が優勢になった。午後は、白組と同点になってしまい、そこから白組の流れになってしまった。その結果、紅組は53点差で負けてしまった。練習で勝っていた綱引きも負けてしまった。僕は悔しかつた。抜きつ抜かれつの良い勝負だつたと思うが。

運動会実行委員長の佐々木先輩が、閉会式で泣いていた。感動と悔し涙だつたのではないかと思った。休憩時間には、体育館で紅組女子1、2年生が大むかでの練習をしていた。スピードを上げる練習だ。みんなあきらめることなく、優勝に貢献しようとしていた姿を佐々木先輩は見ていた。

どうして僕は面倒くさいと思っていたのか。恥ずかしい。来年は全種目を全力でがんばり、みんなの力になりたいと思った。前向きな気持ちを持ち、練習に励みたい。そして優勝したい。仲間を思いやり、大切にすることをもちたい。残り2回の運動会、力の限り。

